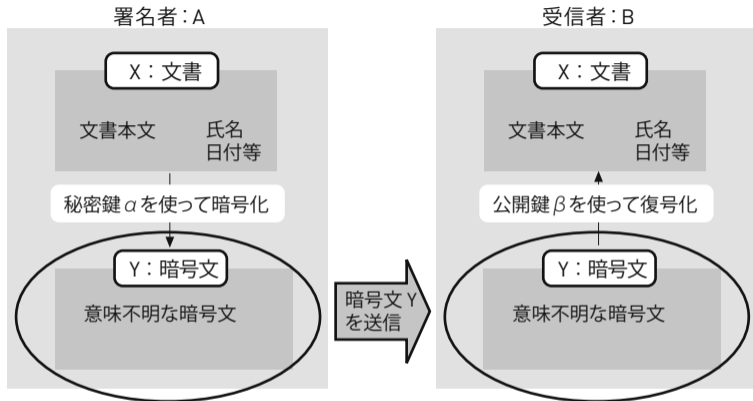


図表2-2 | 電子署名のイメージ



- ・ 公開されている公開鍵 β を利用すれば、 $Y \rightarrow X$ と文書を復号化することができる。
- ・ 公開鍵 β と暗号文からは、秘密鍵 a を知ることができない。したがって、 Y という暗号文を作成できるのは、秘密鍵 a を保有している署名者 A だけである。
- ・ 受信者 B は、公開鍵 β で暗号文 Y を復号化できれば、文書が署名者 A によって作成された真正なものであると確認できる。